

令和3年度 江南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	令和3年12月23日（木）午後1時30分から午後2時30分まで
会 場	江南区役所3階 302会議室
出席者	江南区自治協議会委員 28名（欠席2名） 教育委員：市嶋洋介委員、五十嵐悠介委員 学校関係：亀田西中学校長 事務局：教育総務課教育政策室長、教育総務課主査 亀田地区公民館長、亀田図書館長 江南区教育支援センター所長 他2名 江南区役所：地域総務課係長 傍聴者： 1名（報道関係者）
議 事	1 開会 2 教育委員挨拶
市嶋 教育委員	<p>江南区自治協議会の皆様、こんにちは。本日は、自治協議会の前のご貴重なお時間に教育ミーティングにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は江南区担当教育委員をしております市嶋洋介と申します。今日は、五十嵐悠介教育委員とともに参加させていただいておりますけれども、新潟市の教育委員は現在8名が任命されておまして、教育についてのさまざまな施策や課題などに定期的に会議を行って意見をするという役割をしております。また、本日のテーマでございますけれども、コミュニティ・スクールということで、お聞きになったことがある方もいらっしゃると思いますが、新潟市はこれまでも、地域教育コーディネーターの方や地域の皆さんと一緒に積極的に学校運営が進められてきたのではないかと思いますけれども、それが大きく変わるとか、やり方ががらっと変わるというものではなく、より保護者の方、先生方、地域の皆さんの顔が見える関係となり、近い距離感で子どもたちのさまざまな環境について積極的にかかわりを持って取り組んでいけるような組織になればいいと思っております。</p> <p>今日は、すでにパイロット校として運用されております亀田西中学校の校長先生のお話なども聞いていただきながら、皆様方それぞれのお立場で、コミュニティ・スクールに関わっていただけるとのことではないかということをおイメージしていただければ幸いです。今日は時間までよろしくお願いたします。</p>
議 事	3 説明 (1) コミュニティ・スクール（CS）について ※説明者：教育総務課教育政策室長 (2) 亀田西中学校の取組みについて ※説明者：亀田西中学校長 ※（1）（2）の説明内容は会議資料を参照

議 事	4 質疑応答
司 会	<p>これより質疑応答及び意見交換に入ります。今ほどの説明でご意見、ご質問がある方は挙手をお願いします。また、ご発言の際は団体名とお名前をお聞かせください。</p>
自治協委員	<p>とてもいい取組みで、とても楽しみなのですけれども、少し心配がありまして、CS委員はかなり力を持つという話でしたけれども、今後、そういう人たちが、例えば悪気がなくても、思想的、宗教的に偏る人が集まってきたらどうなるのだらうと思います。悪気が無くても、声の大きい人だけ集まって、声の大きい意見だけが通っていくようになったらというところが少し心配なのですけれども、その辺はどのように解決するつもりなのでしょうか。</p>
教育政策 室長	<p>ありがとうございます。まずは、委員にお願いするときに、この取組みの意図を校長先生からしっかりと伝えていただくことが必要かと思っております。</p> <p>もう一つとしましては、合議体、みんなで話し合っただけで考えていくということですので、お一方のご意見で左右される会議体ではないということになっております。ですので、その辺のところをご理解いただきながら進めていただくことになると思っております。</p>
自治協委員	<p>ありがとうございます。確かにそれはいいと思うのです。ただ、次の委員を選ぶときに、既存の委員で声の大きい人が、「あの人を選んでください」みたいに人選を指示するようになっていったら、良い方向にいけばいいのですけれども、かなり偏りが出るのではないかとということが心配なのです。その辺を止める力があればいいのではないかと思ったのですけれども、その辺はどうなのでしょう。</p>
教育政策 室長	<p>委員の皆様を決めていただくのは、校長先生から推薦をあげていただいて、教育委員会が任命するという形になっています。校長先生が推薦をする前の段階で、皆様とよく話し合いをしていただいて、その中でということになると思うのですが、この方にやっていただくことはできませんというのはなかなか難しいのではないかと考えています。また、各校長先生方にも、その辺をよくご理解いただきながら進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。</p>
自治協委員	<p>今、いろいろと説明を受けて、内容がよく分かりました。先ほどの質問に関連するのですけれども、承認というものがありますが、この承認というのは、委員の方が話し合いをして、満場一致とか、あるいは多数決とか、そういうことで決めるのでしょうか。その辺を教えてください。</p>

<p>亀田西中学 校長</p>	<p>ありがとうございます。学校運営方針の承認に関しましては、当校の場合ですが、今回は初めてでしたので、本来であれば、学校運営協議会の会長から進行をしていただくという方向なのですけれども、最初のときは学校のほうで進行させていただきました。私のほうで、学校運営方針、学校教育ビジョン、年間の計画を説明させていただき、ご意見をいただきました。その中でも否定的なところはなかったですし、最後、ご承認いただけますかと確認した際に、皆さんから拍手をしていただいたので、その段階で承認ということで認めさせていただきました。当校としてはそのようなやり方で、挙手をしていただいたわけでも、多数決をとったというようなことでもございませんでした。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>このたびCSが作られるということで、いい試みだと思っております。特に私もPTA会長を仰せつかってお世話になった先生方がいらっしゃいますが、毎年、校長先生が代わられたりということが私のときはあったものですから、そのたびに運営方針が変わって、子どもたちは1年生、2年生、3年生と、どちらを向いていったらいいのかということで苦労されていたのを見て、学校の中が落ち着かない状況がありましたので、地域を含めながら、持続可能な取組みをすること自体はいいことだと思っております。</p> <p>一つ心配なのですけれども、学校運営協議会の委員に就任した場合、完全ボランティアなのか、費用弁償や報酬などが支払われるのか、どのようになるのでしょうか。</p>
<p>教育政策 室長</p>	<p>ありがとうございます。学校運営協議会の委員の皆様につきましては、新潟市の特別職の非常勤という形になります。ですので、報酬という形でお支払いさせていただきます計画であります。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>内容を聞く中では、CSの取組みはすごくいいことだと思っています。子どものために作られていることではあるのですけれども、大人の視野を広げたり、地域に目を向ける意識を高めるというところにつながっていると思います。もちろん子どものためではあるのですけれども、大人がそういうふうになっていくということが、地域を含めていい動きだと思いますし、日本人が苦手としている、何となくわかり合っているという文化から、学校の方針をしっかりと言語化したり、地域と共有したり、共通認識を作っていくというところで、何となく分かっているよねというところから脱却して、しっかりと言語化されていくのだろうと思い、取組み自体はとてもいいことだと思っています。亀田西中の校長先生も、モデル校ということですので、すごく努力されてきたのだろうと思っています。その中でも、ここから広がっていくにあたって、CSの理解や解釈というものが、どんどん広まれば広まるほど薄まっていくという傾向があると思うのです。コミュニティ協議会が広まっていくときもそうだったと思うのです。今、聞いて、いい取組みだと思</p>

	<p>ったものが全学校に広まっていくことがすごく大事なことだと思うので、そこは私たち地域の人たちも含めて頑張っていくところだと思います。年4回で熟議をするというのは、多分、すごく難しいことだと思うのです、熟議の土台も作らないといけないのだろうと聞いていて感じたのと、CSにかかわっている人は、学校とのかかわりがより深まっていくのですけれども、それ以外、PTAなどもそうだと思うのですけれども、そこに入っていない人たちがどうしても、その意識との乖離というものが生まれているし、CSの中でも生まれてくると思うので、そこだけで終わらずに広めていって、最終的にはすべての人が参画していけるような形になっていくといいのだろうなと思いました。学校の校長が代わっても持続可能なところだったのですけれども、多分、委員も交代があると思いますし、最初のころから少しずつ伝わってくる部分というのが変わってきたり、ここは知っているけれども、ここは新しい人たちは知らないみたいなことも言われやすいと思うので、そのスタートラインをそろえていくことをより丁寧にやっていく必要があるということ、今、聞いていて思ったところです。</p>
<p>教育政策 室長</p>	<p>ありがとうございます。まさにそこですというところをご指摘いただきました。情報の格差や参画意識の格差というものが生まれにくいということは、まさに地域総がかりの必須の条件ではないかと思っています。学校からCS事務員が広報活動の核になるということで取り組んでいただきますし、教育委員会としましても、市民全体に理解を図っていくように継続してまいりたいと思います。貴重な、また素敵なお意見をありがとうございました。</p>
<p>自治協委員</p>	<p>今ほどの説明、お答えの中から考えても、だいぶ地域の意見が強くなっていくと思うのですけれども、地域の意見が強くなればなるほど、ばらばらな意見が出てくるように思うのですけれども、それはばらばらでいいのか、それとも、ある程度一定のレベルという言葉が適切ではないかもしれませんが、その辺はどういった方向にもっていかれるのか。そのようなことから、最初のスタートの時点で、校長先生が人選をしてという部分がすごく大事になってくるのではないかと思うのですけれども、その人選の部分で、先ほどのお話の中で、新しい目で学校を見ていただくことを大事にするということで、今までの学校評議員の方を選ばなかったことによる抵抗というか問題というか、支障のない範囲でよろしいですけれども、その辺をお聞かせいただきたいと思います。</p>
<p>教育政策 室長</p>	<p>最初のレベルというところを私のほうでお答えさせていただきたいと思います。一つ教えてください。レベルというのは、例えば学校区ごとに異なるという意味ですか。それとも一つの学校区の中で委員の方の意識などがさまざまであるという意味でしょうか。</p>

自治協委員

同じ地域、同じ学校の中で、意見を通す力のある人とない人がいる場合もあると思いますけれども、それは今後、委員の中のまとめ役の方が、学校サイドと検討しながら進めていくとは思いますが、それとはまた別に、江南区においても学校がいっぱいあり、それぞれの地域性みたいなものもあると思いますので、あちらの地域はこうだけれども、こちらの地域はこんな感じだと、向かっていく方向が少しずれてきたよねというのは修正をかけるのか、それとも、地域のいいところをもっと伸ばしていくのかという部分です。ただそれが、地域性が出てくると、子どもたちの学区によって差ができたり、格差になったりする部分も考えられるのかなど。その辺はどのような舵取りをされるのかということですが。

教育政策
室長

ありがとうございます。各学校による違いをどうするかということからお話ししたいと思います。各学校はそれぞれ課題も違いますし、先ほどおっしゃった、まさに地域性も異なりますので、画一的にこうするという事は、この制度にはなじまないのではないかと考えています。その学校らしい学校運営協議会のあり方を見つけていくことが大事なのではないかと考えています。ただ、規約等がありますので、その規約の範囲内ということでは当然だと思っています。

続いて、地域の方の中にもいろいろな方がいらっしゃって、声の大きい方、そうでない方もいらっしゃるということにつきましては、一つは、委員は15人までで選ばせていただけるというところが大きいのではないかと考えています。さまざまなお立場、さまざまな視点をお持ちのさまざまな方からお入りいただくということが大事なのではないかと考えています。その辺について、校長先生または学校の皆様、地域の皆様と相談させていただきながら進めていただきたいと思います。また、学校評議員の方のことについては校長先生からお話しいただきたいと思っています。

亀田西中学
校長

私は校長として今年1年この取組みをやってきましたけれども、あくまでも、子どもを忘れてはいけないということを最優先してきました。子どもたちのために、地域の方からどのようにご協力いただいて、よくしていったらいいのかということは忘れてはいけないと思いますし、地域の皆さんもきっと思っておられると思うので、そのためにどのようなご協力をいただけるのかとか、例えば当校区でいえば、亀田西小学校と早通小学校と二つの小学校があって、地域性は少し違うけれども、中学校は一つの学校としてやっているから、その子たちのためにどう協力していただけるかということを中心にすることが学校側の立場として忘れてはならないことだと思っていますし、委員の方にもそのような意識でかわっていただければと思っています。いろいろな意見が出てくることは、私はいいことだと思っていますし、その立場でやれること、お考えになることは違うと思うので、そういった受け止めをしながら、皆さんでどのような方向性でやっていくかということを探っていくことが大事かと思っています。

続いて、学校評議員を学校運営協議会の委員に選ばなかったことについてですが、私はたまたまだと思います。前の学校評議員のことをお話しさせていただきますと、亀田西中学校、亀田西小学校、早通小学校3校が一緒になって、同じ学校評議員の方を選出して、3校一緒の会議をやっていたのです。しかし、今回、CSに変更になることにあたり、先ほども言いましたように、基本的に各学校で学校運営協議会を作るということでしたので、委員を分散させていただきました。ただ、学校評議員会にはコミュニティ協議会の会長からご参加いただいたわけですが、今回のCSのメンバーの中にはコミュニティ協議会の方も入っていただいていますので、コミュニティ協議会のご意見を一切無視しているとか、そんなことはないと思っています。実はこの後も、2月23日にある催し物に関して中学校の生徒に協力してもらいたいというご意見をコミュニティ協議会から頂きました。私は承諾したいと思っています。ただ、そことCSと絡ませたいので、CSのメンバーでいらっしゃるコミュニティ協議会の方からぜひ学校のほうにちよくちよく来ていただいて、行事の日だけ中学生が参加するのではなくて、その前から顔見知りになって、こういうことをしてほしい、ああいうことをしてほしいということを意見交換しながら当日を迎えられればということで、CS委員の方たちとやっていければと思っています。そのようなことを積み重ねながら、あくまでも子どもたちがよくなるためにどのようなことをやるかということを考えていくことが大事なのではないかと。それがやがて地域に返っていくのだと私は思っています。

司 会

お時間がまいりましたので、質疑応答は終了させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

皆様からたくさんの貴重なご意見をいただき、大変ありがとうございました。

最後に、教育委員より、ミーティングにおける感想などをお願いしたいと思います。代表して五十嵐悠介委員からお願いします。

五十嵐
教育委員

皆さんこんにちは。江南区を担当させていただいております教育委員の五十嵐と申します。本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

まずは、コミュニティ・スクールで皆様から期待半分、不安半分というたくさんのご意見をいただきましたことに感謝申し上げたいと思います。率直に申し上げまして、このような新しい制度に切り替わる時はだいたい混乱が起きます。トラブルも起きると思います。ただ、それでもなぜこれにしなければいけないかという、一つは最近、SDGsなどがありますが、持続可能性というものがあります。最近、教職員などの過重労働というものもありますし、土曜日、日曜日の部活動もなかなかできないので、地域の皆様にお願ひせざるを得なくなるということが出てきました。そういった中で、より地域の皆様にコミットしていただ

<p>司 会</p>	<p>きながら、子どもたちによりよい学びを与えていきたいということで、コミュニティ・スクールという制度の導入を図ることが説明としてはございます。確かに不安な部分もあるかと思いますが、皆様からのご意見をしっかり受け止めながら、全員でよりよい地域を作っていくために、ぜひコミュニティ・スクールに皆様でしっかりコミットしていただいて、この地域でよかったと思ってもらえるような教育をしていきたいと思っていますので、引き続きよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議概要につきましては、後日、市のホームページに掲載させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>議 事</p>	<p>5 江南区自治協議会会長挨拶</p>
<p>司 会</p> <p>自治協議会 会長</p>	<p>それでは、閉会にあたり、江南区自治協議会会長様からご挨拶をいただきたいと思っております。よろしく願いします。</p> <p>皆様の真剣なご討議、本当にありがとうございました。また、新しくCS体制が始まるということで、委員の皆さんは相当興味がおありだったと思っております。私も実は学校運営協議会委員の候補として挙げられておまして、参画することになっているわけでございます。やはりこれは、父兄を巻き込んで、父兄の皆さんにまず認知してもらおうというところが一番重要ではないかと思っております。中には、強い要望・意見を仰る方がどこの地域にもおられますし、そういった方が大きな声をあげると、増長してくっついていくという方もおられるようでございます。そういった意見をよく聞きながら、委員になられた方、地域の方が判断をしながら参加していかなければ、地域の活性化、地域の子どもを育てるというのはなかなか難しいのではないかという気がしております。私も10年近く学校評議員をやっております、小学校、中学校の2校でやらせていただいておりますので、特色はいろいろ知っているつもりでございます。逆に知っているからこそ、その特色を生かす。地域格差というのは当然、先ほども心配されておりましたけれども、地域の特色というのは必ず出てくると思っております。そういった伸ばすところは伸ばしていく。他校から学ぶべきところは学ばなければいけないということも、やっていかなければいけない問題だと思っております。自治協議会に参加されている皆さんが地元に戻って、その段階で、地域住民として子どもを見守り、近所の見守りということを重点項目に挙げていただければ、自ずから子どもは育っていくでしょうし、また地域の活性化にもつながっていくと思っておりますので、ますます皆さんの細かい配慮をお願いしたいと思います。今日はお忙しい中ありがとうございました。</p>

議 事	6 閉会
司 会	<p>本日ご説明いたしましたコミュニティ・スクール（CS）につきまして、皆様 が所属される団体の会合などでぜひ話題にさせていただければと思います。そのう えで、ご不明な点等がございましたら、何なりと教育支援センターまでお問い合 わせいただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度江南区教育ミーティングを閉会させていただきます。 長時間にわたりありがとうございました。</p>